

保護者の皆様へ

愛西市立草平小学校
校長 前田由美子

令和6年度学校評価の結果について

余寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、12月に実施しました学校評価（保護者アンケート）の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。

このアンケート結果を十分に検討し、次年度の学校経営に生かしたいと思いを。今後もさらに学校教育の充実に努めていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

記

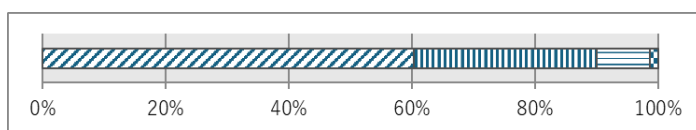
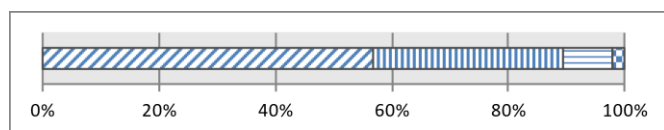
各設問には、4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない
で回答していただきました。（回答数240）

グラフでは、左から、4、3、2、1の順で表示しました。

Q1：教職員は、児童理解に努め、あたたかい雰囲気の中で学級を運営している。

<R5年度>

<R6年度>

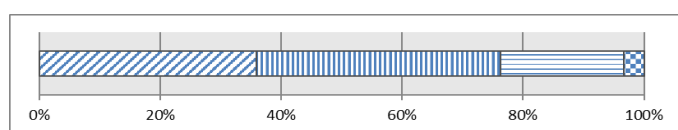
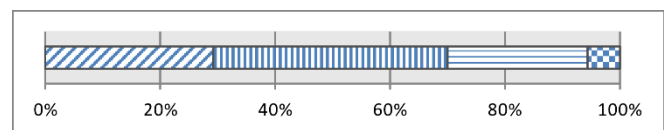


回答4と3が90%を占め、昨年度と同程度でした。多くの保護者が教職員の児童理解や学級経営に肯定的な評価を示していることがわかります。引き続き、一人ひとりの児童に寄り添い、誰にとっても安心できる学級づくりを目指していきます。

Q2：児童は、家庭学習によく取り組んでいる。

<R5年度>

<R6年度>

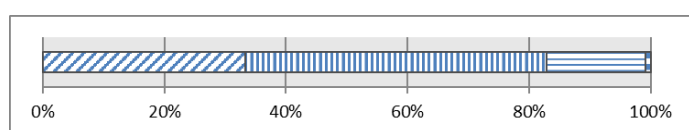
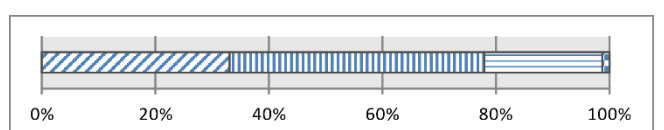


回答4と3が76%を占め、昨年度と比べ6%程度上がりました。今年度はタブレット端末を活用した家庭学習の推進が影響していると考えられます。今後も児童が主体的に取り組める課題の工夫を重ね、家庭学習の習慣化を支援していきます。

Q3：児童は日々の学習内容をよく理解している。

<R5年度>

<R6年度>

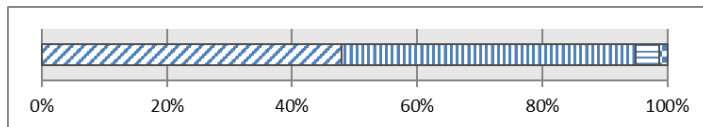
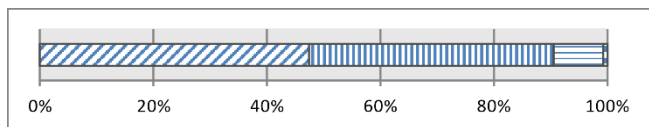


回答4と3が83%を占め、昨年度と比べ5%程度上がりました。ICT機器の活用が進み、児童の学習理解の促進につながっていることがうかがえます。今後も、児童が自信を持って学びに取り組めるよう、授業改善を進めていきます。

Q 4：児童は、家庭や地域の生活の中で、ルールやマナーを守って生活している。

＜R 5 年度＞

＜R 6 年度＞

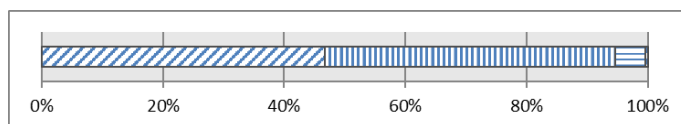
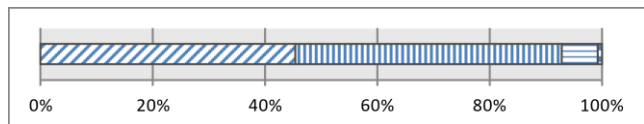


回答 4 と 3 が 9 5 % を占め、昨年度と比べ 5 % 程度上がりました。多くの児童が家庭や地域の生活において適切な行動をとれていることが確認されました。引き続き、正しい判断や行動ができるよう指導を継続していきます。

Q 5：児童は、思いやりをもって人に接したり、協力したりする態度が育っている。

＜R 5 年度＞

＜R 6 年度＞

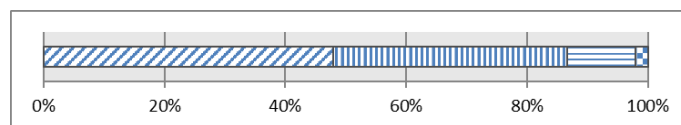
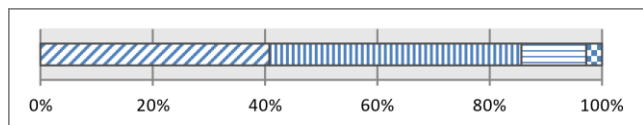


回答 4 と 3 が 9 3 % を占め、昨年度と比べ 3 % 程度上がりました。道徳の授業や日常の学級活動を通して、他者を思いやる心が育まれていることがわかります。今後も、相手の気持ちを考えた言動の大切さを伝えていきます。

Q 6：教職員は、児童を十分に理解し、児童も教職員を信頼している。

＜R 5 年度＞

＜R 6 年度＞

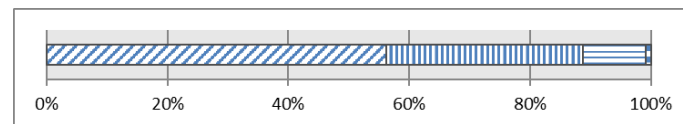
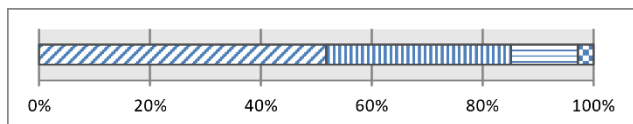


回答 4 と 3 が 8 7 % を占め、昨年度と同程度でした。児童一人ひとりに寄り添い、適切な支援を継続することが求められます。Q U アンケートや生活アンケート、教育相談を定期的の実施し、児童の困りごとを的確に把握しながら支援を強化していきます。

Q 7：児童は体育的活動の時間を楽しみにし、励みにしている。

＜R 5 年度＞

＜R 6 年度＞

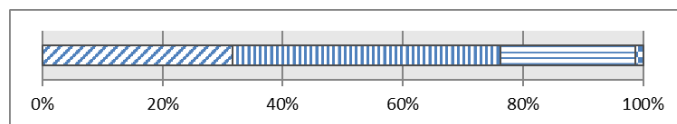
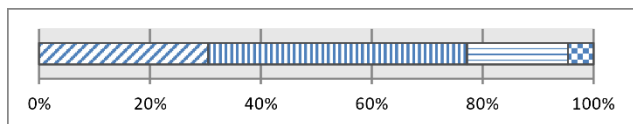


回答 4 と 3 が 8 9 % を占め、昨年度より 4 % 程度上がりました。2 分間走やボール運動、大縄大会などの活動を通じて、体育的活動を楽しむ児童の姿が多く見られます。今後も、楽しみながら体を動かせる環境づくりに努めます。

Q 8：児童は、健康的な生活や体作りを意識して生活している。

＜R 5 年度＞

＜R 6 年度＞

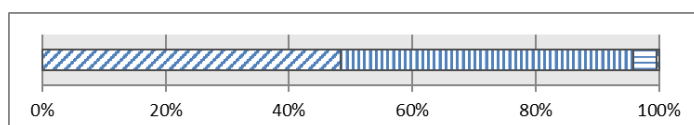
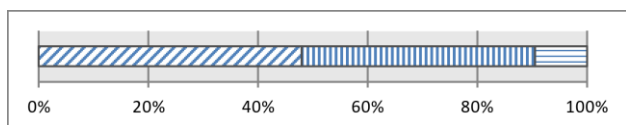


回答 4 と 3 が 7 7 % を占め、昨年度と同程度でした。草平体幹トレーニングやのびのびタイムなどの取組が、児童の健康意識の向上に貢献していると考えられます。日常生活にも運動を取り入れ、健康的な生活習慣を定着させていきます。

Q 9：児童は、交通ルールやけがの防止など安全に気をつけて生活している。

＜R 5 年度＞

＜R 6 年度＞

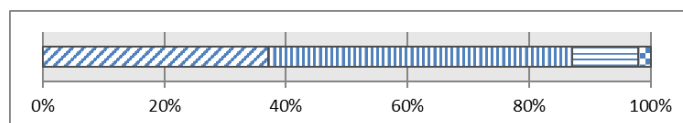
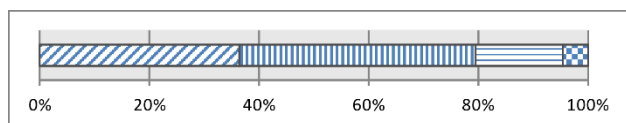


回答4と3が96%を占め、昨年度と比べ5%程度上がりました。安全な登下校や生活習慣が定着してきたことがうかがえます。引き続き、交通安全教室や学級活動を通じて、安全意識の向上を図っていきます。

Q10：学校は、児童の安全に対して、地域や家庭と連携してよく取り組んでいる。

＜R5年度＞

＜R6年度＞

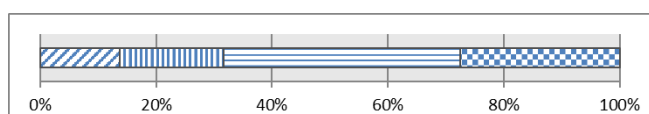
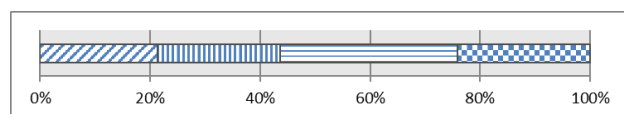


回答4と3が87%を占め、昨年度と比べ7%程度上がりました。地域の見守り活動や避難訓練の実施により、安全対策の強化が進んでいます。今後も、家庭や地域と連携し、より安全な環境づくりに取り組んでいきます。

Q11：児童は、読書に親しんでいる。

＜R5年度＞

＜R6年度＞

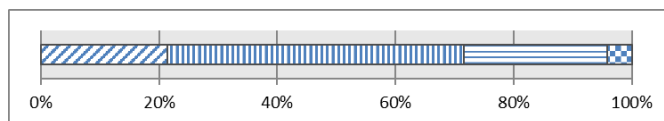
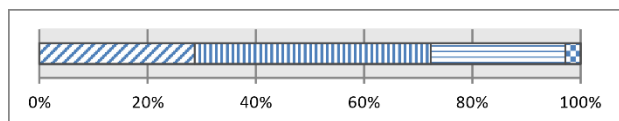


回答4と3が32%を占め、昨年度より8%下がりました。読書離れの傾向が見られるため、朝の読書時間の確保や読み聞かせ活動の充実を図り、読書習慣の定着を促していきます。

Q12：児童は、自分の思いをことばで上手に伝えることができる。

＜R5年度＞

＜R6年度＞

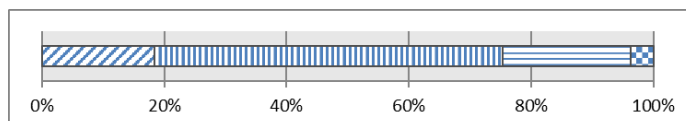
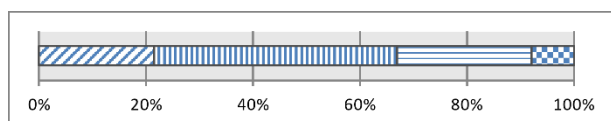


回答4と3が71%を占め、昨年度と同程度でした。話し合い活動を授業に取り入れ、自分の考えを整理し発信できる力を育てています。今後も、表現力を高める指導を進めていきます。

Q13：学校の施設は充実していて、環境も整っている。

＜R5年度＞

＜R6年度＞

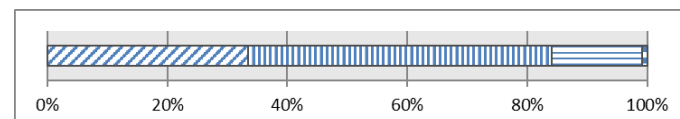
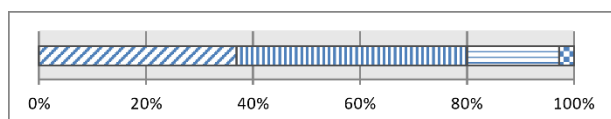


回答4と3が75%を占め、昨年度と比べ8%程度上がりました。ICT機器の導入が進み、学習環境の整備が進んでいます。一方で、校舎や体育館の老朽化が進んでおり、計画的な修繕を行いながら、安全で快適な環境を維持していきます。

Q14：各種のたよりやホームページは学校の様子をよく伝えている。

＜R5年度＞

＜R6年度＞



回答4と3が84%を占め、昨年度と比べ4%程度上がりました。学校だよりやホームページを通じた情報発信の工夫が評価されています。引き続き、保護者や地域と密に連携しながら、学校の様子を適切に伝えていきます。

〈まとめ〉

学校評価アンケートの実施方法を Google フォームからすぐーるに変更したことで、回答率が大幅に向上しました。昨年度の 70 % から本年度は 95 % へと増加し、より多くの保護者の皆様から貴重なご意見をいただくことができました。

R5 年度と R6 年度の結果を比較した考察を総括すると、学校全体として肯定的な傾向が多く見られ、教育活動の成果が着実に表れていることが確認できました。

まず、教職員による児童理解や学級経営については、依然として高い評価を得ています (Q1, Q6)。児童一人ひとりに寄り添う姿勢が維持されており、学級経営の安定につながっています。今後も、児童との信頼関係をより一層深めるために、日常の関わりを大切にしながら支援の充実を図る必要があります。

次に、学習面では、家庭学習の取組 (Q2) や学習内容の理解度 (Q3) において向上が見られました。ICT 機器の活用が定着し、主体的な学びを促す工夫が成果を上げています。引き続き、児童が自ら学びに向かう姿勢を育てるため、指導方法の工夫を継続することが重要です。一方で、読書への親しみ (Q11) については低下が見られ、読書習慣の定着に向けた取組が求められます。昨今、電子書籍やデジタルコンテンツの普及が進んでいることを踏まえ、読書の形態を問わず、児童がどのように読書に親しんでいるかをよりの確に把握できるよう、質問内容を工夫していきます。

生活面では、ルールやマナーの遵守 (Q4)、思いやりのある態度 (Q5)、安全への配慮 (Q9) など、多くの項目で向上が見られました。家庭や地域との連携がこれらの成果に寄与していると考えられます。今後も、道徳教育や日常生活の指導を通じて、児童の健全な成長を促す取組を続けることが重要です。

健康・体育面では、体育的活動の楽しさ (Q7) や健康意識 (Q8) が維持されており、積極的に体を動かす環境が整っていることが確認されました。引き続き、運動を通じた体力向上の機会を提供し、児童が主体的に取り組める活動を工夫する必要があります。

また、学校の安全対策 (Q10) や施設環境 (Q13) についても改善が見られました。ICT 機器の導入が進み、学習環境の向上につながっています。一方で、校舎の老朽化が課題として残るため、計画的な修繕と維持管理が求められます。

情報発信の面では、学校だよりやホームページの充実 (Q14) が評価されており、保護者や地域とのコミュニケーションが円滑に行われていることが確認できました。今後も、学校の取組や児童の成長の様子を適切に発信し、地域との連携を深めていくことが求められます。

全体として、児童の学びや生活に関する多くの項目で向上が見られ、学校全体の取組が成果を上げていることが確認されました。今後も、児童の主体性を伸ばしながら、より良い学習環境と生活環境を整え、学校全体の発展に努めていきます。